



歴史まちづくり

ニュース

第20号



発行：名古屋市観光文化交流局歴史まちづくり推進室 Tel.052-972-2782

発行日：令和2年7月

有松伝統的建造物群保存地区防災計画策定に向けて

有松地区（町並み保存地区内）の防災計画を策定するため、昨年度に引き続き、火災や耐震等に関する調査・検討を進めています。

今年度も、専門家・学区及び消防団等各地元団体・市関係部署で構成される防災計画策定検討懇談会を開催し、意見交換を図りながら進めていきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の第1回懇談会は、6月3日午前、午後、6月10日の3回に分け、少人数会議形式で開催しました。「体制や課題等についていろいろ指摘してもらえるのはありがたいが、具体的に対応していくのが難しいところ」「消防車が来るまでに、住民がひねるだけで簡単に水が出せるというようなものがあれば良い」「土砂災害対策で支援してもらえる制度がないか知りたい」など様々な意見・質問等が出されました。

防災計画に関するアンケートを実施します

地区内にお住まいあるいは勤務されている方々の意見を防災計画に反映するため、アンケートを実施します。回答にご協力をお願いします。

- 配布日** 令和2年7月上旬予定
- 配布方法** 町並み保存地区内各戸へ郵送
- 回答期限** 配布後2週間以内を目途（過ぎた後でも回答は可能です）

- ※同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函ください
- ※アンケートの配布、回収は「名古屋市立大学 志田弘二研究室」に委託して実施しており、郵便局の配達地域指定郵便物を利用して配布予定です。

皆様の貴重なご意見をお待ちしています



昨年度に引き続き、火災などの調査は名古屋市立大学の志田弘二教授、耐震調査を豊田高専の今岡克也教授に依頼しています。地区内を歩いて建物の位置や構造等を目視で確認する調査なども行っています。現地でお見掛けすることもあるかと思しますので、よろしくお願いします。

耐震性の調査にご興味のある伝統的建造物の所有者様

人力や、機器を使用して地震に対する建物の揺れやすさやねじれ等の特徴がわかる調査を今年度も実施します。調査にご興味のある伝統的建造物所有者様、歴史まちづくり推進室にご連絡ください。



名古屋市立大学
芸術工学研究科
志田弘二教授



豊田工業高等専門学校
建築学科
今岡克也教授

令和元年度伝建地区補助金対象工事が完了しました

＜服部崇家住宅隠居屋修理工事＞

隠居屋の屋根の部分修理、外壁の杉皮張替等を行いました。脇門については、構造部材も含め全体的に修理を行いました。



隠居屋修理後



脇門修理後

＜吉田家住宅主屋修理・修景工事＞

主屋の屋根の葺き替え、外壁、建具修理、腐朽した構造部材の健全化を行いました。また、塀について、下見板張、木製建具などで修景しました。



主屋修理後



塀修景後

＜山田耕滋家住宅主屋修理・修景工事＞



修理後

耐震壁の修景

主屋の耐震改修、外壁の漆喰塗、下見板の張り替えなどを行いました。また、外部に耐震の壁ができた部分は瓦屋根、下見板張で修景をしました。

＜旧みどりカーテン修景工事＞



修景後

空家店舗でしたが、シャッターを撤去し、瓦屋根、漆喰塗、下見板張りとし、有松の町並みに合うように外観を修景しました。

市指定有形文化財岡家住宅の建物公開再開のお知らせ

見学無料

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、臨時休館しておりましたが、6月6日(土)から岡家住宅(緑区有松809番地)の建物公開を再開しましたので、ぜひお越しください。

建物公開日時 毎週土曜日・日曜日(年末年始を除く)
午前10時30分～午後3時30分



※感染症拡大防止のため、入館前に体温測定やアルコール消毒をお願いしております。

また、岡家住宅内のガイド案内も当面中止となります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

町並み保存地区内で工事や看板の設置等をお考えの際、まずはご相談ください

建築行為等を行う際は、工事着手前に市への申請・届出が必要となります。また、市への許可申請・届出を行う前に「有松町並み相談会」に事前相談(意見交換)を行ってください。

事前相談・手続きには時間を要するため、建築行為等をお考えの方は、構想のできるだけ早い段階で歴史まちづくり推進室にご相談ください。

伝建地区・町並み保存地区に関するご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室

TEL: 052-972-2782 FAX: 052-972-4128 E-mail: a2782@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp